

# 水稲の総合防除(IPM)の普及推進に向けたオンラインセミナーの開催

総合防除（IPM）への認知を広め、県内生産者の農産物の安定的かつ効率的な生産に資することを目的として、水稲の総合防除（IPM）の普及推進に向けたオンラインセミナーを開催。

## ○ 施策分類

病害虫

## ○ きっかけ・背景、課題の把握

兵庫県では近年、斑点米カメムシ類が多発し、水稲生産量の減収や品質低下の要因になっている。令和7年7月、県から病害虫発生予察注意報が発表され、関係機関に対して防除対策の指導を促す要請があったことを契機に、兵庫県拠点が県内関係機関の調整役となり令和7年11月12日(水)に総合防除の普及推進に向けたセミナーを実施。

## ○ 取組の内容

兵庫県は南北に広大な地形のため、多くの生産者等が参加できるようなオンライン形式による開催とし、県内関係機関と連携し周知徹底を行った。セミナーは、はじめに総合防除の基本的な考え方や兵庫県における総合防除計画について説明、次にアプリを活用した病害虫発生予察等の最新の研究内容を紹介、最後に実践的な地域にあった防除体系の実証等について紹介することで、参加者の総合防除に対する理解が深められるよう構成に工夫した。

## ○ 効果・成果、今後の方向性

兵庫県を中心として北海道から鹿児島まで、農業者・生産者団体・自治体等を合わせて100名を超える参加があった。参加者からは生産現場の防除研究への期待や関心の高さが窺えた。アンケートでは、今後このようなセミナーがあれば参加したいとの回答が81%あり、「カメムシや後期の雑草繁茂など水稲の課題は多いため、今後もIPMの情報を発信してほしい」等の声があった。兵庫県拠点は今後も関係機関や地域と連携し、生産者等へ情報発信を行う。



セミナーの様子

当日の資料はこちらから



## 体制図

